

改正採血基準の実施状況(報告)

I. 採血基準の改正内容

「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律施行規則の一部を改正する省令の施行について」(平成 23 年 3 月 11 日付け薬食発 0311 第 1 号厚生労働省医薬食品局長通知)により、採血基準が以下のとおり改正された(施行時期 平成 23 年 4 月 1 日)。

1. 健康診断の方法の見直し

- ・健康診断の方法から血液比重検査を削る。

2. 全血採血基準の見直し

(1) 共通

- ・血液比重に係る部分を削る。

(2) 200mL 全血採血

- ・男性に限り、献血可能な者の血色素量の下限値を「12g/dl」から「12.5g/dl」に引き上げる。

(3) 400mL 全血採血

- ・男性に限り、献血可能な者の年齢の下限を「18 歳」から「17 歳」に引き下げる。
- ・男性に限り、献血可能な者の血色素量の下限値を「12.5g/dl」から「13g/dl」に引き上げる。

3. 血小板成分採血基準の見直し

- ・男性に限り、献血可能な者の年齢の上限を「54 歳」から「69 歳」に引き上げる(65 歳から 69 歳までの者については、60 歳から 64 歳までの間に献血の経験がある者に限る。)

II. 採血基準の改正に伴う献血状況

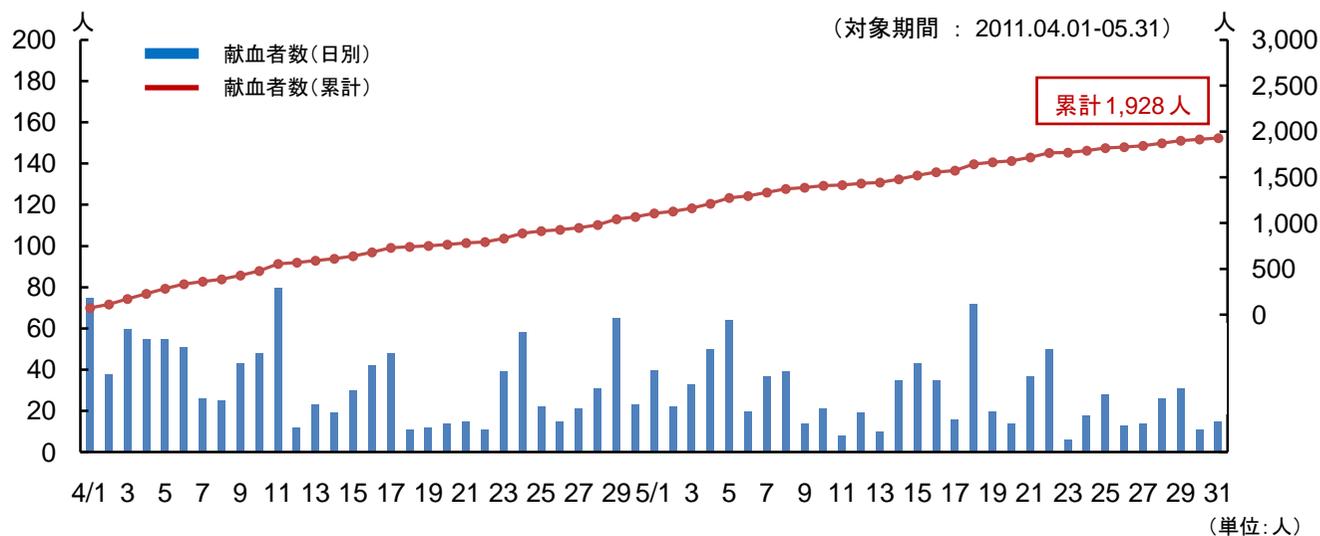
日本赤十字社では、平成23年4月1日から、改正された採血基準による献血受入を開始した。それに伴う献血の状況及び開始前後の広報展開について、以下のとおり概要を報告する。

なお献血状況の対象期間は、平成23年4月1日から平成23年5月31日までの2ヵ月間とした。

1. 400mL 献血者数(17歳男性)の推移

対象となる献血者数は1,928人であった。また、17歳男性全血献血者の合計は2,439人であり、400mL献血者数の構成比は79.0%であった(グラフ1)。今後、同様の協力状況が継続された場合、年間で約12,000人になるものと推定される。

(グラフ1)



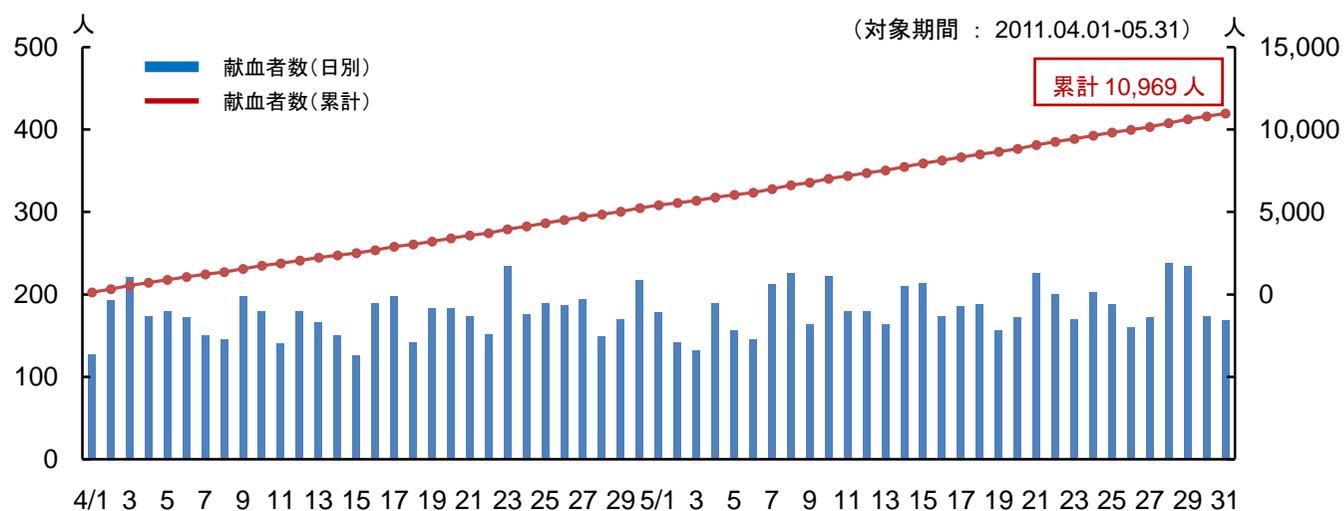
	200mL 献血	構成比	400mL 献血	構成比	計	構成比
平成22年度	1,653	100.0%	—	—	1,653	100.0%
平成23年度	511	21.0%	1,928	79.0%	2,439	100.0%

*4-5月(2ヵ月間)の比較

2. 血小板成分献血者数(55-69歳の男性)の推移

対象となる献血者数は 10,969 人であった。血小板成分献血者(男性)の合計は 107,927 人であり、55-69 歳男性の血小板成分献血者数の構成比は 10.2%であった(グラフ 2)。今後、同様の協力状況が継続された場合、年間で約 66,000 人になるものと推定される。

(グラフ 2)



(単位:人)

	18-54 歳	構成比	55-69 歳	構成比	計	構成比
平成 22 年度	103,290	100.0%	—	—	103,290	100.0%
平成 23 年度	96,958	89.8%	10,969	10.2%	107,927	100.0%

*4-5 月(2ヵ月間)の比較

3. 血色素量の下限値の引き上げにより献血できなかった方(男性)の推移

200mL 献血希望者 122 人については、血色素量の下限値の引き上げ(12.0g/dl → 12.5g/dl)により採血基準を満たしていないことから、献血ができませんでした。

また、400mL 献血希望者 6,861 人については、血色素量の下限値の引き上げ(12.5g/dl → 13.0g/dl)により、6,209 人(献血希望者の 90.5%)が献血できなかった状況である一方で、200mL 献血、血小板成分献血及び血漿成分献血での協力者は 652 人であった(献血希望者の 9.5%)。

(単位:人)

血色素量 12.0-12.4	献血希望者*	献血できなかった方	献血協力者
200mL 献血	122	122	—

*血色素量の下限値の引き上げにより 200mL 全血採血基準を満たさない群

(単位:人)

血色素量 12.5-12.9	献血希望者*	献血できなかった方	400mL 献血以外での献血協力者			
			200mL 献血	血小板成分献血	血漿成分献血	計
400mL 献血	6,861	6,209	582	31	39	652

*血色素量の下限値の引き上げにより 400mL 全血採血基準を満たさない群

4. 広報展開

また、広報展開として、①テレビ CM の放映、②新聞 43 紙(全国紙 3 紙, 各地域で購読率の高い地方紙 36 紙, スポーツ紙全国版 4 紙 計 3,700 万部)への掲載、③ラジオ番組での周知、④ポスターの作製(B2 判 5,000 部, B3 判 5,000 部)、掲出、及び⑤日本赤十字社 HP への関連情報の掲載並びに各献血会場でのデジタルサイネージ(映像配信機器)を用いた周知等を実施した(参考)。

[参考]

I テレビCM放映(別添1参照)

1. 番組提供(全国放送)

放送局名	番組名	放送日	放送曜日	放送時間
日本テレビ	Going! Sports&News	平成23年3月5日, 13日, 19日, 27日	土, 日	23時55分-24時35分
TBS	激闘大家族 SP 東京下町5つ子ちゃん成長期 2011	平成23年3月8日	火	19時56分-21時48分
	世界進出バラエティー メイドイン JAPAN	平成23年3月22日	火	19時00分-20時54分
	紳助社長のプロデュース大作戦 SP	平成23年3月29日	火	19時00分-20時54分
フジテレビ	LIVE2010 すぽると!(土曜日)	平成23年3月5日, 19日	土	24時15分-25時05分

*上記番組中に30秒のCMを1回又は2回放映したこと。

2. スポット放映

地区	放送局名				
北海道	札幌テレビ	北海道放送	北海道文化放送	北海道テレビ	—
東北	青森放送	青森テレビ	青森朝日放送	テレビ岩手	IBC岩手放送
	岩手めんこいテレビ	岩手朝日テレビ	岩手朝日テレビ	宮城テレビ	東北放送
	仙台放送	東日本放送	秋田放送	秋田テレビ	秋田朝日放送
	山形放送	テレビユー山形	さくらんぼテレビ	山形テレビ	福島中央テレビ
	テレビユー福島	福島テレビ	福島放送	—	—

地 区	放送局名				
関東甲信越	日本テレビ	フジテレビジョン	テレビ新潟	新潟放送	新潟総合テレビ
	新潟テレビ 21	山梨放送	テレビ山梨	—	—
東海北陸	北日本放送	チューリップテレビ	富山テレビ	テレビ金沢	北陸放送
	石川テレビ	北陸朝日放送	福井放送	福井テレビ	テレビ信州
	信越放送	長野放送	長野朝日放送	静岡第一テレビ	静岡放送
	テレビ静岡	静岡朝日テレビ	中京テレビ	中部日本放送	東海テレビ
	メ〜テレ	—	—	—	—
近畿	讀賣テレビ	関西テレビ	—	—	—
中四国	日本海テレビ	山陰放送	山陰中央テレビ	西日本放送	山陽放送
	岡山放送	瀬戸内海放送	広島テレビ	中国放送	テレビ新広島
	広島ホームテレビ	山口放送	テレビ山口	山口朝日放送	四国放送
	南海放送	あいテレビ	テレビ愛媛	愛媛朝日テレビ	高知放送
	テレビ高知	高知さんさんテレビ	—	—	—
九州沖縄	福岡放送	RKB 毎日放送	テレビ西日本	九州朝日放送	サガテレビ
	長崎国際テレビ	長崎放送	テレビ長崎	長崎文化放送	熊本県民テレビ
	熊本放送	テレビ熊本	熊本朝日放送	テレビ大分	大分放送
	大分朝日放送	宮崎放送	テレビ宮崎	鹿児島読売テレビ	南日本放送
	鹿児島テレビ	鹿児島放送	琉球放送	沖縄テレビ	琉球朝日放送

*各放送局の空き時間帯に放映を依頼したこと(平成 23 年 3 月 18 日から 31 日までの間)。

II 新聞広告掲載(別添 2 参照)

1. 掲載紙

全国紙(読売新聞・朝日新聞・日本経済新聞)3 紙・地方主要紙 36 紙・全国版スポーツ新聞(スポーツ報知・日刊スポーツ、スポニチ、サンケイスポーツ)4 紙の合計 43 紙 合計 約 3,700 万部

2. 掲載規格

全 5 段モノクロ

3. 掲載日

平成 23 年 3 月 1 日から 31 日までの間 各紙 1 回

III ラジオ番組での告知

JFN38 局ネットにより毎週月曜日から金曜日の午前 6 時 30 分から 10 分間放送している「LOVE in Action」において、逐次、採血基準の一部改正に係る情報を提供したこと。

IV ポスター製作及び配布等

採血基準の一部改正に係るポスター(別添 3 参照)を 1 万部(B2 判 5,000 枚、B3 判 5,000 枚)、A4 判クリアファイル(別添 4 参照)を 40 万部(A4 判)、各々製作して各血液センターに配布するとともに、各献血ルームに整備してあるデジタルサイネージ(映像配信機器)においてもポスター情報を掲出したこと。

また、献血推進団体等に配布することを目的に、当該採血基準の一部改正に係るリーフレット(別添 5 参照)を制作し、より詳細な情報の周知を図ったこと。さらに、献血 Walker(一般国民向け献血推進小冊子)に関連記事を掲載したこと(別添 6 参照)。

別添 1(テレビ CM)

TVCF「石川遼会話篇+採血基準変更告知」篇(15秒)

C-1  137

C-2  136/131

C-3  133/146

C-4  120/126

C-5  131/136

(音楽: ゆず/Hey Hey)

 **ラブ・イン・アクション**

 **献血いただける年齢・条件が広がりました!**
詳しくはWEBへ

 **献血いただける年齢・条件が広がりました!**
詳しくはWEBへ

(声: 藤野ちゃん)
ありがとう。

別添 2(新聞広告)

2011年 平成23年 3月18日 金曜日 13版 24

献血にご協力いただける皆様へ
平成23年4月1日から

年齢条件などの採血基準が一部改正になります。

〔改正内容〕

1. 献血にご協力いただける方の年齢の拡大

(1) 男性に限り、400mL全血献血が可能な方の年齢の下限を「18歳」から「17歳」に引き下げます。
(2) 男性に限り、血小成分献血が可能な方の年齢の上限を「64歳」から「69歳」に引き上げます。
*65歳以上69歳までの男性は、献血400mL以上の献血ができません。

2. 血色素量(ヘモグロビン濃度)の下限値の引上げ

(1) 男性に限り、200mL全血献血が可能な方の血色素量の下限値を「12g/dL」から「13.5g/dL」に引き上げます。
(2) 男性に限り、400mL全血献血が可能な方の血色素量の下限値を「12.5g/dL」から「13g/dL」に引き上げます。
*血色素量13g/dL未満の男性は献血ができません。

平成23年3月1日に施行された関係の法律・政令等を踏まえ、採血基準の改正が実施されます。改正は、科学的根拠に基づいた血色素量の測定精度の向上等に基づいて行われ、安全に実施されることを確保し、献血者の健康と安全を確保することを目的として実施されます。改正は、献血者の健康と安全を確保し、献血者の健康と安全を確保することを目的として実施されます。改正は、献血者の健康と安全を確保し、献血者の健康と安全を確保することを目的として実施されます。

詳しくは日本赤十字社のホームページへ! www.jrc.or.jp

日本赤十字社 人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity.
Japanese Red Cross Society

献血方法別の献血基準	全血献血		成分献血	
	200mL献血	400mL献血	全成分献血	血小成分献血
年齢	18歳以上	18歳以上	18歳以上	18歳以上
血色素量	12g/dL以上	12.5g/dL以上	12.5g/dL以上	13g/dL以上
血小成分	—	—	—	—
献血回数	—	—	—	—
献血間隔	—	—	—	—
献血回数	—	—	—	—
献血回数	—	—	—	—

400mL・成分献血にご協力下さい。

別添 3(ポスター)

献血にご協力いただける皆様へ
平成23年4月1日から

年齢条件などの採血基準が一部改正になります。

〔改正内容〕

- 献血にご協力いただける方の年齢の拡大
(1) 男性に限り、400mL全血献血が可能な方の年齢の下限を「18歳」から「17歳」に引き下げます。
(2) 男性に限り、血小板成分献血が可能な方の年齢の上限を「54歳」から「69歳」に引き上げます。
*65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までの間に献血の経験がある方に限られます。
- 血色素量(ヘモグロビン濃度)*の下限値の引上げ
(1) 男性に限り、200mL全血献血が可能な方の血色素量の下限値を「12.5g/dL」から「12.5g/dL」に引き上げます。
(2) 男性に限り、400mL全血献血が可能な方の血色素量の下限値を「12.5g/dL」から「13g/dL」に引き上げます。
*血色素量(ヘモグロビン濃度)は血液中の赤血球の濃さを意味しています。

項目	全血献血		成分献血	
	200mL献血	400mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血
1 採血対象年齢	200mL	400mL	600mL以下 (献血者年齢17歳以上)	400mL以下
年 齢	16歳～69歳*	男性17歳～69歳* 女性18歳～69歳*	18歳～69歳*	男性18歳～69歳* 女性18歳～54歳
体 重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女とも 50kg以上	—	男性45kg以上 女性40kg以上
赤血球数	90万/mm ³ 以上			
血色素量	男性12.5g/dL以上 女性12.5g/dL以上	男性13g/dL以上 女性12.5g/dL以上	12g/dL以上 (献血者年齢17歳以上)	12g/dL以上
血小板数	—	—	—	15万/μL以上 60万/μL以下
年間献血回数	男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内	血小板成分献血1回/2回分に換算して 血漿成分献血に合計24回以内	—
年間献血献血量	200mL献血と400mL献血を合わせて 男性1,200mL以内、女性800mL以内	—	—	—

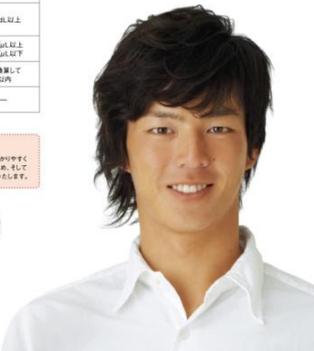
*65歳～69歳までの方は、60歳～64歳までの間に献血の経験がある方に限られます。

～平成23年4月1日から「閉鎖書」が改訂されます～
献血にご協力いただける皆様は、献血にご協力いただける皆様を募集させていただきます。募集の要領について、皆様にお知らせしやすく
ご留意いただくように、募集要領が「14歳以上」から「17歳以上」になります。閉鎖書は、献血された方の健康を守るため、そして
血液を必要としている患者さんや災害などの緊急時に必要とされています。ご理解とご協力をお願いします。

詳しくは日本赤十字社のホームページへ!

日本赤十字社 検索 www.jrc.or.jp

▲ 肝炎ウイルス・エイズウイルスなど、感染症の疑いがある方は、献血に該当していません。



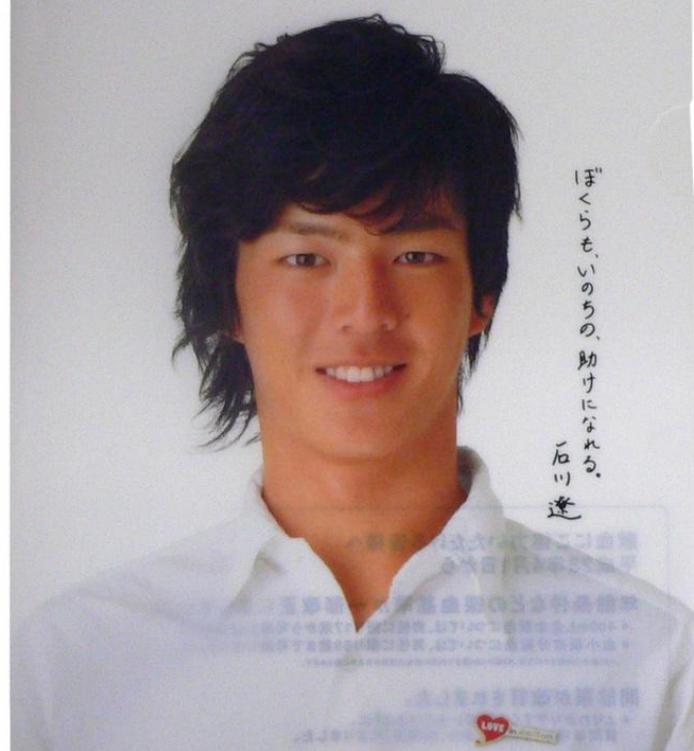
日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity

別添 4(クリアファイル)

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity.



ぼくらも、いのちの、助けになれる。
石川 遼

LOVE in Action <http://ken-love.jp>

